

関係者各位  
プレスリリース

2020年3月31日

GPSS エンジニアリング株式会社

GPSS エンジニアリング株式会社

「〈はまぎん〉SDGs 私募債～未来へ～」発行のお知らせ

GPSS エンジニアリング株式会社(代表取締役社長：フィリップ リチャーズ、以下、関連会社を含め「GPSS グループ」)は、【GPSS エンジニアリング株式会社第1回無担保社債(払込期日：発行日2020年3月31日、株式会社横浜銀行保証付および適格機関投資家限定)】を発行しました。

本社債の資金使途は、主に持続可能エネルギー開発等に係る運転資金に充当される予定です。「〈はまぎん〉SDGs 私募債～未来へ～」は発行額の0.1%相当額を、神奈川県 of SDGs 目標達成に取り組む団体に寄付することにより、SDGs 目標達成の後押しを支援する債券(私募債)発行の仕組みです。

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットからなる持続可能な社会を目指す開発目標として構成され、世界の国連加盟国が目標達成に向け尽力しています(※1)。

GPSS グループは、その企業理念において、地域資源を活用した持続可能エネルギー事業(太陽光、風力、中小水力、地熱、バイオガス+WTP※2)を通じて、持続可能エネルギーによる電力コストが既存の電力のコスト以下になる「グリッド・パリティ(Grid Parity)」を実現することによって、真に持続型社会(Sustainable Society)を実現することをその使命としています。私たちは今後も、あらゆる分野の方々と価値共有・共創を通じて、持続型社会の構築を目指してまいります。

※1：外務省 HP「JAPAN SDGs Action Platform」参照。

※2：WTP(Waste to Power)とは、有機性廃棄物全般を発電のための原料として捉え、従来型の畜産ふん尿によるメタン発酵による発電のみならず、食品廃棄物、動植物性廃油、動植物性残渣、木質廃材などの多様な有機性廃棄物を原料とした発電手段を意味します。発電原料として未利用の廃棄物の有効活用するこ

とで、「廃棄物」を「資源」に変える取り組みを実践します。

**【社債概要】**

社債名称 : GPSS エンジニアリング株式会社第 1 回無担保社債  
社債発行総額 : 50 百万円  
払込期日 : 2020 年 3 月 31 日  
最終償還期日 : 2027 年 3 月 31 日  
償還方法 : 定時償還  
保証人 : 株式会社横浜銀行

■本件に関する問い合わせ

GPSS グループ 広報室

TEL : 03-6435-2391

Email : [pr@gpss.jp](mailto:pr@gpss.jp)

HP : <https://gpssgroup.jp>